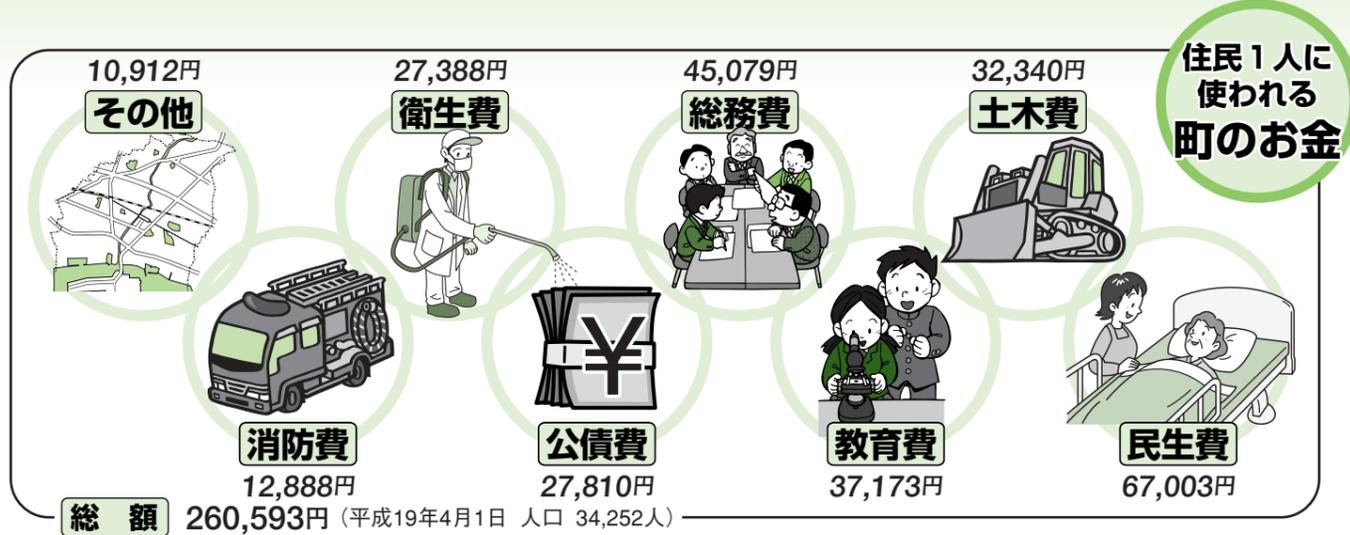
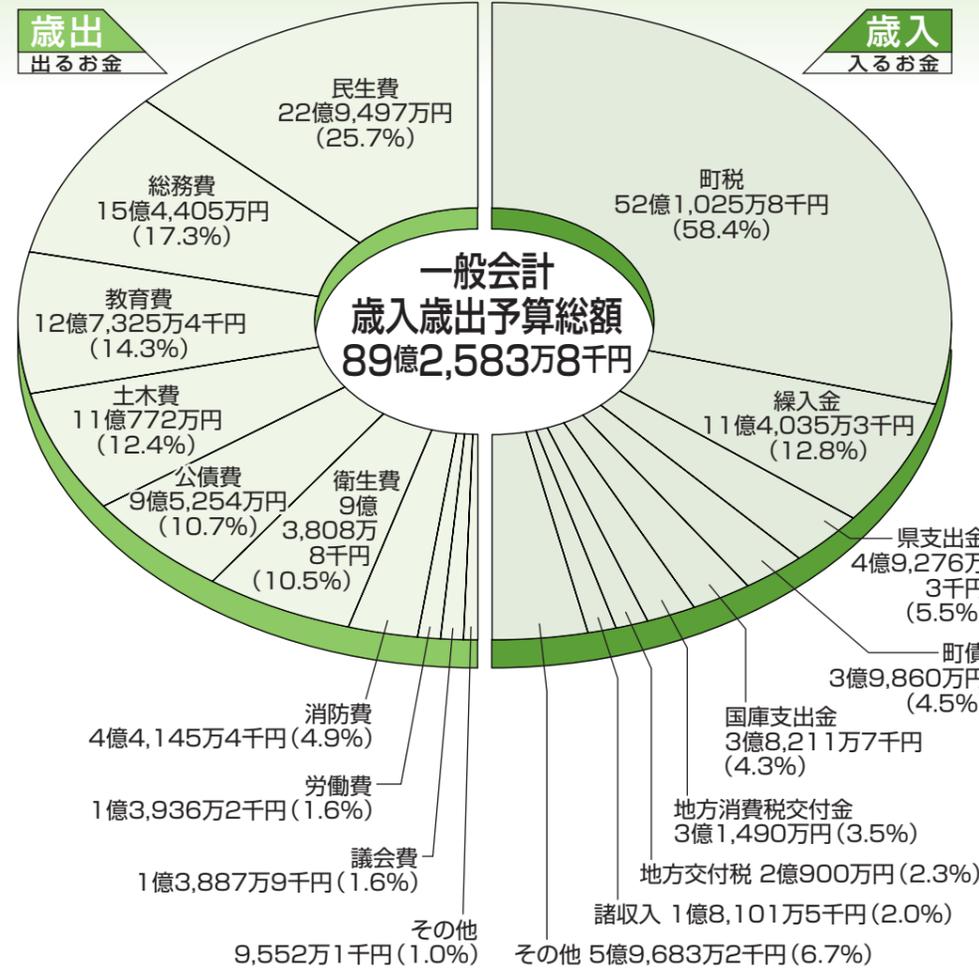


平成19年度予算が決まりました 予算総額は、192億1949万8千円

平成19年度の予算が、3月の定例町議会で決まりました。今年度は
 どれだけの収入があり、どのような事業にお金を使うのでしょうか。
 この1年間の収入と支出の見積である予算について説明します。



**町税は増収となるが、
地方交付税・地方譲
与税は大幅に減少！**

一般会計の歳入においては、町税が最も多く、52億1025万8千円で全体の58.4%を占めています。その内訳は、固定資産税は前年度に引き続き減収見込みとなりますが、法人町民税の増収及び税源移譲に伴う個人町民税の増収が見込まれるため、前年度よりも5億3376万4千円、11.4%の増額となりました。しかし、地方交付税においては、国の制度見直しによる影響を受け、2億900万円となり、前年度に比べ6億4400万円、75.5%の減額となる見込みです。

加えて、地方譲与税についても暫定措置として譲与されていた「所得譲与税」の廃止により1億214万円となり、前年度に比べ2億6448万4千円、72.1%の大幅な減額となりました。

その他、財源不足を補う財政調整基金などの繰入金も、全体の12.8%で11億4035万3千円、対前年比10%の減、その次に県支出金が4億9276万3千円、対前年比6.8%の増、そして町債が3億9860万円、対前年比29.1%の減となりました。

概要

一般会計と特別会計などを合わせた予算総額は、192億1949万8千円で、前年度と比べて1億1483万3千円、0.6%の減となっています。

会計別では、一般会計が89億2583万8千円、特別会計が90億3422万2千円、企業会計が12億5943万8千円、9%増の12億5943万8千円です。

国民健康保険事業などの特定の事業を行う5つの特別会計の予算総額は、90億3422万2千円で対前年度比34%の増です。また、企業会計である水道事業は、対前年度比19.9%増の12億5943万8千円です。

区 分	予 算 額	対前年度伸率
一 般 会 計	89億2,583万8千円	△6.5%
特 別 会 計	90億3,422万2千円	3.4%
(国民健康保険事業)	32億6,883万2千円	9.3%
(財 産 区)	10億6,513万9千円	△1.5%
(老人保健医療事業)	21億5,622万9千円	△1.2%
(下 水 道 事 業)	10億5,937万8千円	5.7%
(介護保険事業)	14億8,464万4千円	0.2%
企業会計 (水道事業会計)	12億5,943万8千円	19.9%
合 計	192億1,949万8千円	△0.6%

少子・高齢化施策の推進

一般会計の歳出で最も多いのは、民生費の22億9497万円です。一般会計の25.7%を占めます。これは、高齢者や障害者(児)の福祉施策や保育園などの児童福祉施策のための予算で、今年度からの児童手当制度の改正や乳幼児等医療費助成制度の拡充に伴う経費などは、ここに含まれています。その他健康いきいきセンター・福祉しあわせセンターなどの福祉施設や北部及び南部子育て支援センターの運営経費もこの中に含まれています。また今年度は、児童保育施設の整備において、児童の増加により手狭になった播磨西小学校児童保育所に新たな専用施設を整備します。

限られた財源の中で事業を展開

2番目は、総務費で15億4405万円、全体の17.3%を占めます。これは、十数年経過する住民基本台帳や税務・財務会計などの業務システムを新たなものに置き換えるための経費として約4億300万円が盛り込まれたことにより大きく増額と

<歳入>
 町税…所得にかかる町民税や土地・建物にかかる固定資産税など
 繰入金…各種基金(預金)から一般会計へ繰り入れたお金
 国庫支出金、県支出金…事業を行うための国や県からの負担金や補助金
 町債…事業を行うために借り入れたお金
 地方交付税…町の財政需要に応じて国から交付されるお金

<歳出>
 民生費…高齢者や障害者、児童のための福祉など
 総務費…財産管理や企画・税務事務など
 教育費…学校教育や公民館の整備など
 土木費…道路や公園の整備など
 公債費…町債などの借入金の返済
 衛生費…ごみ・し尿処理や予防接種など
 消防費…消火・水防活動など
 労働費…労働者への福利厚生など
 議会費…議会の運営など
 農林水産業費…農業・水産業の振興など
 商工費…産業の振興や観光など

なったもので、他にもコミュニティバスの導入調査費や町制45周年記念事業などの経費が含まれています。

3番目は、教育費で12億7325万4千円、14.3%を占めています。これは、幼稚園や小・中学校の維持管理経費、園舎・校舎などの耐震診断及び耐震工事の経費、その他小中学校の図書室の充実のため図書を派遣する経費や小学校での英語活動における経費です。中央公民のエレベーターの設置及びエアコン設備工事や、図書館、スポーツ施設などの管理運営経費もここに含まれます。

土木費は約11億772万円、全体の12.4%を占め4番目です。これは、町道浜幹線などの道路整備費や維持補修費の他、「大中遺跡公園」を始めとする都市公園などの維持管理費があります。また、「県立考古博物館」の開館にあわせ、「緑道でありのみち」には案内看板、町道大中二見線には道路案内標識を設置します。

公債費は、約9億5254万円で全体の10.7%と5番目となっています。これは、施設の建設や道路の整備などのために、これまで借り入れてきたお金(町債)の返済に充てるものです。平成19年度末の一般会計の地方債残高見込みは約93億1082万円で、特別会計を合わせた全体では、約192億9323万円で、約192億9323万円となる見込みです。

こんな事業を実施します

1 豊かなこころを育み 文化を創造するまち

小・中学校教育の充実

読書活動推進事業 929万円

豊かな感性を養い育て、基礎学力の向上のため図書環境の充実を図るとともに、司書を配置します。

小学校英語活動推進事業 892万円

語学力の育成や多文化理解の推進など国際人として必要な資質を身に付けさせるため、小学校からの英語活動を推進します。

子ども安全教育(CAP)推進事業 73万円

子どもたちが自ら自分の命を守る力を身に付けさせるため、判断力のつき始める小学4年生及び思春期に入る中学1年生の全員にCAPプログラム教育を実施します。

教科専門指導教諭設置事業 2,762万円

基礎的・基本的な内容の確実な定着や補充的学習、発展的学習など個に応じたきめ細やかな学習を推進するために教科専門指導教諭を配置します。

子ども支援事業(スクールカウンセラー配置「新」) 237万円

学校・家庭・関係機関と連携を図る中で、新たにスクールカウンセラーを配置し、児童や保護者の相談活動を行い健全な成長を支援します。

小学校体験型環境学習事業「新」 36万円

小学3年生を対象に、自然と触れ合う体験学習を実施します。

放課後子どもプラン事業「新」 28万円

新制度としての内容を考慮しながら、運営委員会を設け事業実施に向けて取り組みます。

交通安全街頭指導事業 1,150万円

通学路の危険箇所街頭指導員を配置することにより、町内4小学校に通学する児童の登下校時の交通安全確保を図ります。

学校園施設の充実

小学校……小学校建築物耐震対策事業ほか 1億69万円

播磨小学校体育館の耐震工事、遊具整備改修、下水道整備などの事業を実施します。

中学校……中学校建築物耐震対策事業ほか 849万円

播磨中学校体育館の耐震設計及び播磨・播磨南中学校技術棟の耐震診断などの事業を実施します。

幼稚園……幼稚園建築物耐震対策事業ほか 277万円

播磨幼稚園の園舎の耐震診断、遊具整備改修などの事業を実施します。

文化施設の充実

中央公民館改修事業 8,583万円

エレベーターを新たに設置するとともに、老朽化した空調設備についても更新します。

図書館改修事業 1,717万円

図書館の屋上防水工事を行います。

2 誰もが健康で安心して暮らせるまち

乳幼児等医療費助成事業「拡大」 9,509万円

小学3年生までの医療費を無料化及び所得制限を撤廃し、乳幼児などの健康の向上と福祉の増進を図ります。

学童保育施設整備事業 2,239万円

児童の増加により施設が手狭になった播磨西小学校学童保育所の児童の保育環境の改善を図るため、専用施設を設置します。

特別保育補助事業(病後児保育の実施「新」) 644万円

延長保育及び一時保育などの事業に加え、病後児保育を実施します。

妊婦健康診査費助成 900万円

妊婦を対象に、妊娠期間中に医療機関などで受診した妊婦健康診査に係る費用の一部を助成し、妊婦の健康増進を図ります。

自立支援事業者移行支援(障害者施設整備費補助「新」) 300万円

小規模作業所などが障害者自立支援法に基づく新事業体系へスムーズに移行できるよう移行時に要する設備投資費用の一部を補助します。

後期高齢者医療事業「新」 1,116万円

各市町が運営している「老人保健制度」が、都道府県ごとに全市町が加入する「広域連合」が運営主体となる「後期高齢者医療制度」に代わり、高齢者医療の保険料の賦課・医療給付等の事務が平成20年

町の基本的な目標を定めた「第3次播磨町総合計画」に定められた5つの柱に分けて、平成19年度に行う主要・新規事業を紹介します。

4月から行われます。この広域連合の円滑な運営を図るため、運営に係る経費等を負担し、システムの構築を行います。

要援護者実態調査事業「新」 112万円

災害時に援護を必要とする障害者、高齢者を対象として、災害時における適切な避難支援プランの策定のため、これらの方々の日頃の状況を把握するための調査を実施します。

自動体外式除細動器(AED)の設置 184万円

心停止で倒れるという不測の事態が起きたときに、迅速に対処できる環境整備のため、自動体外式除細動器(AED)を、中央公民館・コミセン・図書館・郷土資料館・はりまシーサイドドームに設置します。

3 安全でさわやかな都市環境のまち

コミュニティバス導入調査事業「新」 471万円

コミュニティバス導入について、必要な措置を講じるため地域公共交通会議を設置し、調査・検討を行います。

都市計画道路の整備 6,901万円

浜幹線や大中二見線の整備をすすめます。

町道の整備 6,062万円

新島内道路舗装改良・鹿ノ川宮ノ裏線などの町道の整備をすすめます。

緑道であいのみち再整備・都市公園改修 3,738万円

緑道であいのみち再整備や都市公園施設の改修をすすめます。

土山駅周辺地区まちづくり交付金事業 1,252万円

土山駅周辺の整備をまちづくり交付金事業により、既存の地域資源の活用を図ります。

河川監視カメラ維持管理事業「新」 176万円

大雨などによる河川の増水状況をBAN-BANテレビによる監視カメラにより把握します。

国民保護計画推進事業「新」 43万円

武力攻撃事態などにおいて町民の生命、身体及び財産を保護するための措置を的確かつ迅速に実施するため、国民保護計画の見直しを実施し町民への周知を図ります。

4 快適な生活環境と産業が調和する活力あるまち

塵芥処理施設修繕工事 8,000万円

塵芥処理施設の適正な運営及び維持管理のための整備を行います。

一般廃棄物処理施設整備基金積立事業 1億円

一般廃棄物処理施設の整備資金を確保するため設置された一般廃棄物処理施設整備基金への積み立てを行います。

5 交流を進め みんなで協働して創るまち

夏まつり・大中遺跡まつり事業 1,420万円

夏まつり、大中遺跡まつりを支援します。

参議院議員選挙の実施 1,384万円

町議会議員選挙の実施 1,435万円

兵庫県議会議員選挙の実施 865万円

住居表示整備事業 2,079万円

住居表示による住所の表示の整備を行うことにより、住所を分かりやすく示し、郵便配達・救急車到着などの行政サービスの正確化、迅速化を図ります。

次期基幹業務系システム導入事業 4億285万円

現行基幹業務系システムに代わる、本町にとって最適な新システム導入のための行政事務の分析・標準化を行い、システムのカスタマイズを抑制しながら次期システムの構築を行います。

映像配信設備整備事業「新」 310万円

議会中の映像をインターネット網を用い配信するため映像配信システムを整備します。

また、イベントなどの映像の配信にも活用します。

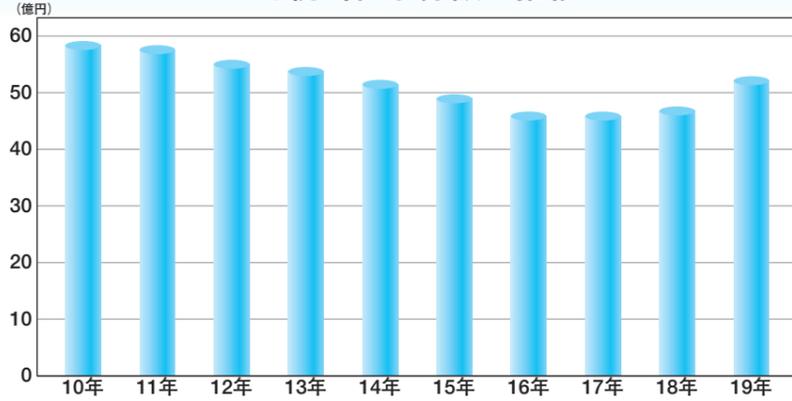
町制45周年記念事業「新」 200万円

町制施行45周年記念の記念式典などを行います。

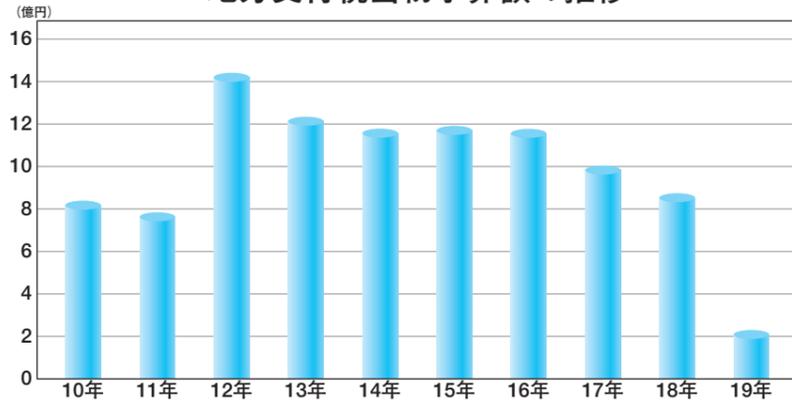
播磨北小学校跡施設運営管理協議事業「新」 21万円

播磨北小学校跡施設の有効利用のため、播磨北小学校跡施設に関する運営管理組織を設置し、具体的な運営管理プログラムを協議します。

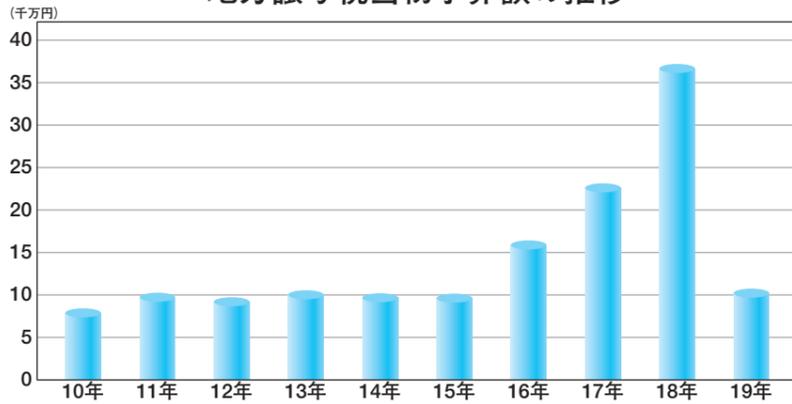
町税当初予算額の推移



地方交付税当初予算額の推移



地方譲与税当初予算額の推移



遺跡くんと**弥生ちゃん**の紹介

この絵は村山ゆかりさん(神戸市在住)が描きました。

播磨町のキャラクター「遺跡くん」と「弥生ちゃん」は平成元年(1998年)「播磨町が「共に生きようふれあいのまち」宣言をしたときのイメージ・キャラクターとして生まれました。

大中遺跡の弥生時代の子どもたちを思い描き、名前を大中遺跡から「遺跡くん」、弥生時代から「弥生ちゃん」と名付けました。

遺跡くん、弥生ちゃんは、古代でも、夢があって楽しく生活している様子を、見る人に語りかけるように描かれています。原画では背景に大中遺跡の住居、恐竜の子どもも描かれており、大中遺跡がより身近に感じられるように、また古い時代からみんなが仲良く生きていくことを表しています。

播磨町は今年で45歳

昭和37年、兵庫県で最後の村「阿閉村」から「播磨町」になり、今年で45年目を迎えます。「県立考古博物館」の開館後、10月28日(日)に記念式典を行います。大中遺跡にちなんだ播磨町のキャラクター「遺跡くん」「弥生ちゃん」は、大いに活躍してもらう予定です。

遺跡くん そうなんだ。住民の皆さんの二ノスがますます高まる中で、まちの台所事情を非常に厳しくしているんだ。町としても限られた歳入の中で様々な事業を行うために、事業の見直しや経費の削減を図る行政改革を行う必要があるんだ。

弥生ちゃん それでも不足するお金はどうするの??

遺跡くん 弥生ちゃんのお家もそうだと思うけど、使えるお金が不足したら、貯金を崩してそれに充てるでしょう。まちの台所も同じで財政調整基金という貯金があり、不足額をここから取り崩すんだ。平成19年度予算では、歳出見積額89億3千万円に対し、歳入見積額78億2千万円となり、その不足額の11億1千万円を取り崩したんだ。

弥生ちゃん まさに厳しいまちの台所事情ね。

遺跡くん そうなんだ。これからはますます厳しくなるかもしれないよ。そのためにもお金の使い方、集め方を変えていく努力が必要だね。

▼問い合わせ 総務グループ
079(4335)0357

厳しいまちの台所事情



平成19年度の予算が決まりましたが、遺跡くんも弥生ちゃんもこんなお話をしています。

平成19年度予算のこと

弥生ちゃん 遺跡くん「予算が決まった」ってあるけど、よく耳にする「予算」ってどういう意味?

遺跡くん 「予算」っていうのは、1年間の収入と支出の見積もりのことで、播磨町でも新しい年度が始まる前にその1年間でどのくらいの収入があるのか、そして1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、その費用を見積もっているんだよ。

弥生ちゃん それが3月に決まったのね。

遺跡くん そうなんだ。でも平成19年度予算をつくるのは、とても厳しい財政状況の中で、すずめられたんだよ。

厳しい財政状況

弥生ちゃん 厳しい財政状況ってどういふこと?

遺跡くん まちの歳入で最も多いのは、皆さんからの税金などで町税というんだけど、これについては、法人などの景気回復の影響により昨年度に比べて約5億3千万円の増で52億1千万円を見込んでいるんだ。ところが、逆にこ

町税と地方交付税

遺跡くん ちょっと難しい話だけど、地方交付税では、まず全国の市町村が標準的なサービスを行うために必要な経費を算出するんだ。この経費から皆さんの納めた税金などを基に求められる標準的な収入を差し引いて計算された額が地方交付税として国から市町村へ交付されているんだ。

弥生ちゃん そういふ仕組みになっただのね。

遺跡くん そのつえ、近年は国も危機的な財政状況にあるためこの仕組みを維持することが難しくなり、計算の仕組みが毎年見直し、標準的なサービスを行う経費も年々縮小傾向にあり、町税の増減にかかわらず交付される地方交付税は、削減されているんだ。

まちの台所は火の車?

遺跡くん そのつえ、今年度より国からの所得譲与税の制度が廃止され、地方譲与税が約2億6千万円も減ってしまったんだ。結果、地方交付税の減額とあわせると約9億円減少する見込みで、町税の増加分を差し引くと約3億7千万円が減ることになるんだ。

弥生ちゃん そんなに入ってくるお金が減ってしまったら、まちの台所

一般会計当初予算額の推移

